



# 発想の転換でキレイに生まれかわる 夏疲れをリセ

撮影/今村史佳(人物)

紫外線や冷房で弱っているところに、次第に乾燥していく外気にさらされ、ヘトヘト状態なのが秋の肌。今ここでケアをしないと、一気に老化が進んでしまいます。ダメージをリセット+徹底保湿ケアの2段階構えて、冬にも立ち向かえる本格的な肌づくりを!

現在、美容コーディネーターとして活躍している弓気田さんの以前の仕事は、伊勢丹新宿店の化粧品バイヤー。また、来店する女性たちの悩みに合った化粧品をおすすめる「ポーチコンシェルジュ」としての勤務経験もあるだけに、この時期の女性の肌状態や、陥りやすいケアの

**「自分の肌が何を求めているのか考えて与えることが何より大切です」**



弓気田みずほさん 美容コーディネーター

伊勢丹新宿店バイヤーとして、女性たちのニーズや悩みに合わせてきた経験が、退職後は雑誌などでコメントするほか、化粧品会社の専任アドバイザーを務めるなど、美容の現場で活躍

傾向には精通しています。「秋口は、多くの女性の肌が固くなっていると感じますね。紫外線や冷房などの悪影響から不要な角質がたまり、ゴワゴワしたり、ファンデーションのノリが悪かったり。ところが肌の感触が悪いというのはわかっていても、その原因がなぜな

のか、を考えるところまでいかない人が多い。ゴワゴワしてる、ノリが悪い!保湿をすればいい!と思いがちなんです。でも、根本的な原因がきちんと解消されない限り、他のどんなケアをしても、骨折リ損になってしまいます」では、肌トラブルの原因を正確に見つけるにはどうしたらいいのでしょうか。「最近の気になる傾向としては、口コミだけで化粧品を選んでしまう人が多いという点。でも、みんなにいいものだからといって、自分にもいいとは限りません。自分の肌がどんなケアを欲しているのかを常に考えるクセをつけましょう。そうすれば、おのずと肌トラブルの原因もわかるようになります。またルイティンのように同じ化粧品を使い続けるのではなく、変化を与えてみるのも大切です。その意味でも、季節の変わり目である今は、スキンケアを見直し、自分の肌に向き合うチャンスだと思っていますね」

秋は潤いを  
チャージ

が多かった人は…

**C**  
初期アンチエイジングでたるみ防止を

が多かった人は…

**A**  
シミ防止のメラニンケアを今すぐに!

が多かった人は…

**D**  
肌力を高める肌活性ケアを行って

が多かった人は…

**B**  
不要な角質を落とすことが不可欠